

## 第2回地区説明会

学校再編の総合的な観点		
中学校区	質問・意見	市の見解
君津中学校区	子どもの数が少なくなる中、再編は必要である と考える。しかし、子どもたちにとって与える 影響は少ない。子どものことを最優先に し、心のケアなども考えながら進めてほしい。	子どもたちにとってよりよい教育環境を目指 し、学校の再編に取り組むべき時期であると考 えております。 実施にあたっては、環境整備のみならず、子ど もたちの精神面での支援などについても配慮し てまいります。
周南中学校区	再編は絶対に進めていかなければならないと考 える。市民みんなで考えるこういう機会は、非 常に大切である。	
八重原中学校区	子どものよりよい学びのためには、適正規模は とても重要である。	
周南中学校区	君津市の人口、子どもたちの数が大幅に減って いく中で、学校再編は非常に重要であると思 える。	
周西中学校区	長期的なビジョンが見えず、その場しのぎに感 じる。	
周南中学校区	残念ながら少子化は進んでいる。20年30年 後にはもっと地区の人口も減って、同じような 再編が行われるのではないかと思う。新しく学 校をつくるなど思い切った改革を考えている か。	本計画は現在の人口動静をもとに、今後10年 間の計画としています。その後は、社会情勢の 変化、教育情勢の変化にも対応できるよう、次 期計画に取り組んでまいります。
小糸中学校区	少子化は進んでおり、5年・10年のスパンで は将来的にまた同じことの繰り返しになってし まう。将来の展望を考えた計画を立てるべきで ある。	
周南中学校区	学校再編を進める上では、教育以外の部門も参 加し、今後の君津市の方向性に合わせて進めて ほしい。	
小糸中学校区	保護者アンケートの結果、清和中学校区では1 学年あたりの学級数は1学級が望ましいと答え ている人の割合が多いのに、再編が必要だと答 えている人の割合が多いのはなぜか。それにつ いてどのように捉えているのか。	あまりにも生徒数が減少していくことについ て、再編は必要だと捉えています。
清和中学校区	三島小学校に子どもが通っているが、授業では 先生方がきめ細かに見てくれ、行事でも一人一 人が役割を持ち、学年の枠を超えた交流もあ る。小規模でとてもよい環境である。	小規模校においても、充実した教育活動が行わ れていることは十分理解しております。 しかし、ある程度の規模を確保することで、多 様な教育活動を展開することが可能になり、よ り子どもたちの資質を伸ばすことができると考 えております。 また、複式学級は子どもの教育活動だけでなく、 学校運営の面からも早急に解消する必要があ ると考えております。
清和中学校区	清和中は小規模であるが、現状の課題について 説明してほしい。	
清和中学校区	秋元小は魅力のある学校だ。地域の実態を汲み 取って、再編を考えていただきたい。	
亀山中学校区	複式学級があっても、教頭や教務主任が担任を 持っており、工夫して解消している。本当の意 味での複式ではない。	
清和中学校区	地域に学校が無くなるということは、若い人が 残らなくなるということ。地域に学校を残して ほしい。	学校は地域コミュニティの核として存在してき たことは十分認識しております。今学ぶ子ども たち、将来学子どもたちの教育環境の充実とと もに、地域の実情にも配慮をし、総合的に判断 をしていきます。
小櫃中学校区	実施にあたっては理解が進んだところからとい うことであるが、判断の基準は何か。	再編については、いろいろなお考えがあり、1 00%の理解は難しいと考えます。地区説明 会、保護者アンケート、パブリックコメントな ど市民の皆様からいただいたご意見や市議会 での議論を踏まえ、最終的には行政で判断を しなければいけないと考えております。
松丘中学校区	新しい施設を建設し、新しい校名で新たなス タートをできるようにしてほしい。	統合をした場合、新しい学校として新たなス タートを切ることを考えておりますが、施設 については必要な整備を行い、既存施設を 有効活用することを基本としております。

松丘中学校区	児童生徒数だけでなく、家族構成や通勤の状況など把握し今後の見通しを持つべきである。	一世帯あたりの人数は減少しており、核家族化が進んでいる状況です。また、勤務状況ですが、近隣市（木更津、富津）に通勤されている方が多数を占めている状況となっています。今後の参考にさせていただきます。
松丘中学校区	統合の前後でどのような変化があるか、学力テストの平均点やいじめの件数など数字を示してほしい。	中には学力が向上したという事例もあるようです。また、統合により人数が多くなり、いじめ事案の割合が増加したということは聞いておりません。
亀山中学校区	適正規模とは何か。子どもの人数が少ないとなぜ複式学級にしなければならないのか。	より多くの友人・教師との触れ合いや切磋琢磨できる環境、具体的にはクラス替えができる学校規模と考えています。また、学級の人数と教職員の配置については、法律で定められており、2つの学年で16人以下の場合、複式学級となります。
亀山中学校区	小規模校でも社会性や規範意識が育まれないことは無い。適正規模を求める必要はないのでは。	小規模だから社会性が育まれないことはありませんし、学校教育だけが教育の場でないことも認識しております。
亀山中学校区	子どもは家族、地域、学校の中で育ち、社会性も身につけていく。学校の規模は、ほんの一部にすぎない。	本計画は子どもたちにとってよりよい教育環境を目指しており、社会の形成者としての基礎を養う学校教育では、ある一定の規模の中で、関わり合い・学び合い・切磋琢磨できることが大切であると考えております。
亀山中学校区	統合について、他市の失敗例はあるのか。失敗から学ぶためにも、そういった事例を調査し、よりよい再編を目指してもらいたい。	先進事例の調査・研究も行いながら、再編を進めてまいります。
小系中学校区	費用削減のための再編ではないということだが、統合によって学校が大事にされている、自分たちが大切にされているという実感につながるような予算の使い方をしてほしい。	学校再編は、教育環境の充実を目指すものです。そのために必要な予算の確保に努めてまいります。
松丘中学校区	再編の基本計画には、コスト面の見通しや、統合後の跡地利用などの考え方を示すべきである。	今回示したものは、あくまでも再編のイメージです。設置場所により費用面、跡地利用など変わってきます。
周西南中学校区	この計画を進めるにあたり、どれくらいお金がかかるのか。	実施プログラム案を作成する際には、きちんと試算も行いながら、最もよいと考える案を作成してまいります。
八重原中学校区	適正規模、魅力あるメニューなど示されているが、財政的に実現可能なのか。	
周西南中学校区	再編が教員を減らすものになってはいけない。今いる教員を有効に活用してほしい。	子どもたちを直接指導するのは教員であり、教科担任を含め、必要な定数を確保することは、学校運営においても大変重要と考えております。
八重原中学校区	適正規模・適正配置によって、中学校では免許を持った専門の先生が配置されることになるのか。	教職員の定数は法令により国・県が措置することが基本でありますので、より充実した教育活動が展開できるよう、国・県に要望してまいります。
八重原中学校区	実施した後に、よくなかったということにならないように、みんなで考えて進めてほしい。	実施までの準備をしっかりと行い、子どもたちが再編をしてよかったという充実感が味わえるよう、教育活動、施設整備等考えてまいります。

## 学校の統合について

中学校区	質問・意見	市の見解
周西中学校区	統合賛成の立場だが、統合して活力あふれる学校というものをどのようにつくるかをもっと明確にしたほうがよいと思う。	ある一定規模の集団を確保することにより、教育活動の多様性、切磋琢磨できる環境となります。さらに、これまでの各学校が築いてきた文化を融合させることにより、活性化が図られると考えます。そういった面から、統合も活性化のための一つの手段であると捉えております。
清和中学校区	統合によるデメリットについてどう考えるか。	
君津中学校区	北子安小学校を残すために、通学区域の見直しを図ってもらいたい。	他の学校との統合、通学区域の見直しにより、適正規模を満たすことを考えております。具体的な内容については、実施プログラム案を作成し、再度市民の皆様の説明をしていきます。
君津中学校区	北子安小学区に引っ越してきたが、これから学校がなくなることがあるのか。	
小系中学校区	学区が広がった場合、行事や授業参観など保護者が参加する際に、保護者用の駐車場が必要となる。視察にいった学校ではその点はどうしていたのか。	スクールバスの乗降場所と駐車場の両方を確保してありました。
小系中学校区	小系と清和にはそれぞれに文化がある。学校が統合された場合に、その文化の継承をいかにしていくか、保護者等の意見を踏まえて進める必要がある。	統合に際しては、発展的に融合が図られるよう、統合準備室を設立し、学校関係者、保護者、地域関係者と協議して進めてまいります。
清和中学校区	親は、自分の子どもによりよい教育をさせたいと考える。小中一貫にしても意味が無い。発達段階に応じた統合がよいと思う。	教育活動の充実のために、ある程度の規模を確保することが必要であると考えております。部活動も体力、技術だけでなく、人間形成において重要な役割を担っていると認識しております。また、学校の規模は、学校運営の面（教職員の数）、PTA活動などにも関係してくるものです。ご意見をもとに、実施プログラム案を作成してまいります。
清和中学校区	やはりある程度の規模がないと、十分な部活動もできない状況である。	
清和中学校区	学校がなくなることよりも、学校を運営できなくなることが問題だと思う。ある程度の規模を確保した中で進めてほしい。	
清和中学校区	3代で秋元小の卒業生である。子どもの質の向上を考えると、地域にこだわらず、学区の統合を推進していく必要がある。	
清和中学校区	三島小は世帯数が少なく、PTA活動も難しく、負担も大きい。秋元小と三島小を早く統合してほしい。	
清和中学校区	三島小は小規模特認校であるが、通学の面など保護者の負担は少なくない。特認校制度があっても児童の数は増えていない。三島小と秋元小、清和中と小系中の試行的な連携をやってみてはどうか。	
清和中学校区	小系地区とは交流なども行っていない。もし、統合するならば交流期間も考えてほしい。	
清和中学校区	炭焼きや野菜作りなど、清和でしか経験できないことがあり、統合により清和の文化が消えてしまうのではないか。	統合に際しては、子どもたちが円滑に学校生活を過ごせるよう配慮してまいります。また、これまで行ってきたよい面を継承できるよう、統合準備室にて協議してまいります。
清和中学校区	大きな学校になれば、いじめなどの心配もある。	いじめは学校の規模に関わらず、どの子にも起こりうるものであるとして、指導にあたることが重要であると考えます。いじめは「しない」「させない」という意識で取り組んでまいります。
小櫃中学校区	県外・県内の事例について説明があったが、統合によって地域がどうなったのか、地域の声を知りたい。	統合により運動会など活気があふれ、新たな地域コミュニティが出来上がりつつあるという事例も聞いております。
小櫃中学校区	比較的規模の小さい学校でも、すばらしい学校はたくさんある。小櫃は地域で一体となって学校を支えている。存続できるものは、極力残してほしい。	規模の小さな学校も、学校、地域の支えにより、充実した教育活動を展開していることは、十分認識しております。本計画の趣旨を踏まえ、検討してまいります。

小櫃中学校区	統合についてイメージが示されたが、設置場所はどこにすることを考えているのか。	今回お示ししたのは、あくまでもイメージであり、現時点で決定しているものではありません。使用校舎については、既存施設の有効活用を基本として考えており、施設の状況・通学の状況・教育活動の面などから判断していきます。	
複数学校区	統合によりどこかに学校を決めることになるが、案を提示するに当たり、公平に妥当なものを提示してほしい。		
八重原中学校区	八重原小学校と外箕輪小学校が統合される場合、使用校舎は八重原小になるのか、それとも、施設のよい外箕輪小学校になるのか。	これまでいただいたご意見を全て含め、総合的に判断し、実施プログラムにてお示しします。	
小櫃中学校区	小櫃・上総地区の4校を統合する案を進めてほしい。		
久留里中学校区	中学校は部活動の面からも統合に賛成だが、小学校は地域に残すことを考えてほしい。		
久留里中学校区	前回の「発達段階に考慮した」という意見が反映されたものが示された。発達に応じて、低学年だけでも残すなど考えてほしい。		
久留里中学校区	自治会連絡協議会でも、地域によって温度差はある。「中学校だけは早くやってほしい」という話はよくでていた。小学校はじっくり考えてほしい。		小学校1年生から中学3年生まで発達段階の違いは認識しております。教育活動、登下校、地域の実情など総合的に判断していきます。
久留里中学校区	以前小学校の分校について意見もあったが、発達段階に配慮をお願いしたい。		
松丘中学校区	中学校は統合し、小学校は地域に残してほしい。保育園、地域との交流など考えられる。		合同生徒会においても、同様の意見をいただいているところです。
久留里中学校区	生徒会の生徒と話す機会があったが、生徒は概ね賛成の立場であった。「切磋琢磨できる」「多くの友達と知り合える」という意見と、「今の人数の方が、先生が一人一人によく指導してくれる」などの意見があった。		
松丘中学校区	統合した学校のメリットは、「友達が増える」など子どもの目線のものでしかない。		子どもたちにとってよりよい教育環境を目指しているものです。統合により期待される効果としては、単に友達が増えることだけでなく、多様な考えに触れたり、切磋琢磨できたりすることで、学校の活性化につながるものと考えます。
亀山中学校区	複式学級を避けるためには、統合も仕方ない。しかし、そうでないなら、工夫して最大限統合を避けてもらいたい。		複式学級については、大きな課題であると捉えています。
亀山中学校区	統合すると学区が広域になり、先生と保護者とのつながりや家庭訪問が難しくなることが予想される。保護者と教師の密な連携が図られなくなるのではないか。	保護者と教師とのつながりは重要だと捉えています。学校関係者と協議し、よりよい運営について考えてまいります。	
亀山中学校区	再編のイメージは、例えば松丘と亀山のように、もっと広い選択肢を提案していただきたい。	今回の再編イメージは、基本計画の考えにもとづいて、考えられる構想として示したものです。	
周西南中学校区	統合についていろいろなうわさが飛び交っており、不安になっている保護者もいる。早く具体的な案を示してほしい。	基本計画を策定した後、実施プログラム案の作成を行います。学校の小規模化は進行しているので、できるだけ早く提示できるよう努めてまいります。	

## 特色ある学校づくりについて

中学校区	質問・意見	市の見解
周西中学校区	特色ある教育を行っていった場合、学校の実績ができるようになるのか。	特色ある教育は、拠点校を中心に取り組んでいきますが、その成果を検証し、よい面は市内全校へ波及させることも視野に入れております。
君津中学校区	質の高い教育を目指すことに賛成である。学力など目標設定を盛り込み、結果をフィードバックさせるなどするとよいと考える。	学力、体力などの目標数値は、個人または各学校において実態に合わせて取り組んでいます。また、対象校への評価・検証を適宜行い、それをフィードバックすることを考えております。
周西中学校区	保護者としては特色ある教育を求めておらず、基本的な知識や社会性が身につけばよい。	社会の形成者として、基本的な能力や社会性を身につけさせることは、学校教育の最大の目標であり、これまでも、これからも変わりません。
小櫃中学校区	特色ある学校をどのように決定していくのか。	学校の実態、地域の特性、地域の方々の意見を踏まえ、学校と協議をしながら決定してまいります。
松丘中学校区	新しいアイデアを出して、魅力ある教育を行って行くべきである。	今回のメニューは、これからの社会において、子どもたちが生きるための力を身につけさせたいということから考えたものです。
君津中学校区	小中一貫校で4-3-2制を導入した場合、学期途中で転校した場合に、教育内容にずれが生じることは無いか。	指導要領の範囲で行っていくもので、6-3制でも、4-3-2制でも差異はなく、問題ありません。
君津中学校区	小中一貫教育について、今後市内全域の学校で進めていくことを考えているのか。	拠点校の研究実践をもとに、成果と課題を検証し、小と中のつながりとして活用できる部分は市内全校へ広めていくことを考えております。しかし、全ての学校を一貫校にするものではありません。
周西中学校区	国でも6-3制の見直しがされていくようになるのか、小中一貫教育がどのような位置づけになっているのかを知りたい。	国でも小中一貫教育の効果について検証を行っており、成果や課題を整理しているところです。
周南中学校区	周南は地域と学校のつながり、保育園や公民館のつながりも強い。これらを踏まえ、周南らしい新しい教育システムを考えてもらいたい。	どのような取り組みが可能か精査し、実施プログラムの参考にさせていただきます。幼・保・小・中の連携についても視野に入れてまいります。
周南中学校区	現在も小中間の連携もある周南地区は、小中一貫がふさわしいと考える。地域全体で盛り立てていきたい。	
周南中学校区	周南地域は小中の結びつき、地域の結びつきが非常に強い。小中一貫やコミュニティ・スクールを別々に切り離さず進めていければと思う。	
清和中学校区	子どもたちは現実に減っており、複式学級になるなど、学校は小規模化している。清和地区で小中一貫をやっても、10年後にはさらに過疎化が進むと思うが、どう考えているか。	学校の規模と一貫教育の効果について、先進校の成果や課題を調査してまいります。
清和中学校区	できれば清和で小中一貫教育を考えてほしい。地域文化の継承も行っていくこともできる。中学校進学では、生徒の流出が進んでいる。早くプランを示してほしい。	
小櫃中学校区	既存施設の有効活用ということだが、小中一貫校をやるときにも既存の施設を使うのか。	既存施設の有効活用を基本としております。本市の学校の立地状況からは、施設隣接型か分離型の導入が比較的可能であると考えます。
周西南中学校区	周西南中学校区は1小・1中なので、一貫教育校にしてしまわず、いろいろな学校が混ざるようになったほうがよい。	一貫教育校において、人間関係の固定化について課題があると祝っておりますが、教育活動の展開によって課題を克服している事例もあります。
松丘中学校区	国際社会に出て行くことを考えるのではなく、地域に戻ってくるような教育をしてほしい。	国際教育は、異国の文化を知るとともに、日本の文化や伝統も学ぶことが重要であると考えております。

周西南中学校区	国際教育については、外国の方々を招き、その国の文化を紹介するなど考えていけるとよい。	多様な教育活動の展開が可能かと思われます。英語を中心としたコミュニケーションの技能や知識だけでなく、外国の方と直接触れ合う体験的な学習も重要だと考えております。
周西南中学校区	再編は前向きな取り組みで大歓迎である。しかし、国際教育で、英語を早い時期から学ぶことについては反対である。それよりも日本語、日本の文化を学ぶことに時間をかけないといけないと思う。	
周西南中学校区	インクルーシブ教育は、理想的なものである。学校だけでなく、地域の大人にも学ぶ機会を作ってほしい。	現在でも、インクルーシブ教育についてはどの学校でも取り組みを行っておりますが、さらに特別支援学校や関係機関との連携により、子どもにも学びの充実感、達成感を味わわせたいと考えております。
八重原中学校区	インクルーシブ教育の話が出ていたが、県の特別支援学校などとの連携も視野に入っているのか。	
周西南中学校区	キャリア教育は大賛成である。社会に出たら通用することを教えてあげることが必要である。	キャリア教育は、職場体験学習など現在各学校においても取り組んでいるところです。拠点校においては、地域に根ざし、小中の連携を図った取り組みを進めていきたいと考えております。
周西南中学校区	キャリア教育は、拠点校のみならず全ての学校で行ってほしい。	
八重原中学校区	できれば、八重原中学校区でコミュニティ・スクールを進めていただきたい。	
		八重原地区の実情や学校の状況を踏まえ、市内全体のバランスを考えてまいります。

## 通学区域に関すること

中学校区	質問・意見	市の見解	
君津中学校区	通学区域の見直しの対象地域は、従前の指定学校と新しい指定の学校を選択できるようになるのか。	学校の選択制は考えておりません。新しい通学区域を基本として考えております。しかし、小学校と中学校のつながり、兄弟姉妹関係などに配慮をすることは必要であると考えており、弾力的な対応も検討してまいります。	
周西南中学校区	通学区域の原則はあってよいが、学区を選択できるようにになるとよい。		
八重原中学校区	小学校の通学区域を変更した場合、中学校の学区はどうなるのか。		
君津中学校区	貞元小と周南小との学区にはねじれが生じているので、子どもたちの安全を考えると見直しも必要であると考えます。	通学区域は、児童生徒の安全、通学の距離を基本に考えます。しかし、これまでの地域とのつながりもありますので、学校関係者や地域関係者の声を聴き、実情を踏まえて進めてまいります。	
君津中学校区	通学区域については、学校、PTA、自治会などの関係者を含めて、協議できるような場をつくってほしい。		
周西中学校区	学校が設置された状況で、通学区域の線引きがされており、近い学校を通り越して遠い学校へ行く現状がある。子どもの安全を考えた線引きをしてもらいたい。		
周西中学校区	学校は地元にとって大切なものである。実施プログラムを策定するときには、自治会への説明を行うなど、きめ細かい対応をお願いしたい。		
周西中学校区	大和田自治会には2つの小学校と2つの中学校があり、自治会役員の負担もとても大きい。		
周南中学校区	通学区域の見直しにより、これまで築いてきた地域のつながりを分断しないようにしてほしい。		
周南中学校区	現在、国道を越えて通学している子どもたちがいるが、国道を越えるからといって危険であるわけではない。		通学の安全は最優先事項であると考えております。道路の状況、車の往来の状況などを調査し、進めてまいります。また、安全確保のための手立てを、関係部署、関係機関に働きかけてまいります。
周南中学校区	通学の際、常代交差点を横断し、子どもたちは通学している。しかし、青信号も長くなっており危険な様子は見受けられない。		
八重原中学校区	かつて国道においてダンプに子どもが巻き込まれるという事故があった。そういったことを忘れず、安全に配慮しながら通学区域などを考えてもらいたい。		
八重原中学校区	国道を横断することと、狭い道路を比較して、一概に国道の横断が危険であるとは言えない。		
周西中学校区	通学区域が広域になった場合、中学校の自転車通学はどうなるのか。	自転車通学については、各学校において距離等を定めております。今後も各学校の状況において判断し、定めていくものと考えております。	
八重原中学校区	南子安小の学区を外箕輪小に持ってくるなどの考えはあるのか。	計画にあるとおり、通学区域の見直しにより適正規模を求めることも一つの手段であると捉えております。児童の安全面、通学の距離、地域の実情も踏まえ、保護者や地域関係者と協議をして進めてまいります。	

## 意見聴取などについて

中学校区	質問・意見	市の見解
君津中学校区	自治会の全戸に回覧を実施するなど、配慮に感謝する。	次回地区説明会を開催する場合にも、多くの方が参加できるよう、開催時間、周知方法について、配慮してまいります。
周西中学校区	このような説明会で意見を聞いてもらったという実感があまり無い。	これまでの地区説明会、パブリックコメント、アンケートなど様々な手法で、広く市民の声を吸い上げております。それらをもとに、基本計画を作成しました。
清和中学校区	自分たちの意見が、どの程度取り入れられるのか。	前回より、『案』という形で提示し、広く意見を伺っており、その意見を参考に、策定していきます。
清和中学校区	子どもたちの意見を聞き、大切にしてほしい。	
清和中学校区	中学校の合同生徒会で子どもたちの意見を聞くという話があったが、どうなったのか。その結果も示してほしい。	この再編計画については、幅広い経験や知識をもとに大局的に判断しなければならないものと考えます。
久留里中学校区	子どもたちにアンケートなどをとるなどして、意見を聞く予定はあるか。	児童生徒の発達段階もありますので、中学校合同生徒会にて、子どもたちの声も伺いました。
松丘中学校区	この計画は10年間のものであるが、そのときには今の保護者は保護者ではない。今の高校生など、若い人の意見を取り入れる必要があるのではないか。	また、その内容の公表については検討してまいります。
亀山中学校区	保護者アンケートは総論を提案した時点で行ったもので、熟していない時点でとったものである。	アンケートの結果だけで判断するものではありませんが、保護者の現状に対する認識を知る一つの手段であると考えております。

## スケジュールに関すること

中学校区	質問・意見	市の見解
複数中学校区	統合をする場合、どれくらいの期間で実施していくのか。	今年度中に基本計画を策定し、それを踏まえて具体的な統合を含めた実施プログラムを作成してまいります。統合をする場合には、お互いの地域の実情、児童生徒のための環境整備、学校の運営等々整える必要があります。少なくとも2年から4年程度かかると想定しております。
松丘中学校区	統合はいつ行うのかがわからない。それがわからないと意見が言えない。	
周南中学校区	もし再編をした場合、通学区域の見直しは何年後くらいに行われるのか。	
清和中学校区	複式学級は何とか避けたい。最終的なプランは時間がかかると思うが、複式解消は早急に対応してほしい。	
松丘中学校区	清和・小櫃・上総地区の保護者は70%が必要だと考えている。上総地区は小規模化が進んでいるので、重点的に進めて、速やかに1年以内でまとめてほしい。	早急に対応すべき課題だと捉えております。
小櫃中学校区	実施プログラムはいつ頃示されるのか。また、そのときに説明会は実施されるのか。	今年度中に基本計画を策定し、それをもとにして実施プログラム案を作成してまいります。早急にしなければならない課題もありますので、夏ごろまでにはお示ししたいと考えております。その際には、再度説明に伺います。



地域文化		
中学校区	質問・意見	市の見解
複数中学校区	再編により山間部では過疎化が進むことが危惧される。	本計画は子どもたちにとってよりよい教育環境を提供することを目指しているものです。「今学ぶ」そして「これから学校で学ぶ」児童生徒のために、よりよい教育環境を提供することが、子育て環境の充実の一助になると考えております。 さらに、地域の活性化については、跡施設の有効活用等考えてまいります。
清和中学校区	移住してくる人にとって、学校があるかということは大切である。	
亀山中学校区	学校がなくなった場合、地域の活性化はどのように図られるのか。	
久留里中学校区	地域創生、田舎に人が集まるような施策は無いだろうか。	
君津中学校区	今の子どもたちが君津で自分たちの子どもを育てていきたい、というようなまちづくりをお願いしたい。	
亀山中学校区	親は子どもたちを人数がいる中で過ごさせたいと思うだろうが、地域は学校がなくなったら、コミュニティが保てなくなってしまう。	
亀山中学校区	自分が学んだことを自分の子どもにも学ばせたい。学校がなくなったら帰ってくる意味がないと息子が言っていた。	
周西中学校区	学校をつくる際には、用地の提供を行った。実施プログラムを作る際には、跡地の利用も含めて考えてもらいたい。学校でなくなるならば、その用地を買い戻したい。	再編のプログラムが決定した段階で、施設の利用方法について提示していきたいと考えております。例えば、他の施設との複合化、あるいは統合、企業の誘致など、いろいろな方法があります。 また、この点については、地域の皆様と共に考えていきたいと思っております。
松丘中学校区	跡地利用についてどう考えているのか。	地域文化の継承は、とても重要であると考えております。現在も各学校において、総合的な学習の時間などにおいて工夫した取り組みを行っているところです。
清和中学校区	地域の文化の継承などについては、どのように考えているのか。	
清和中学校区	統合により、地域のつながりが損なわれるようなことはしないでほしい。	再編後も、地域の学習材料、人材の活用などを行い、それぞれの地域について学べる環境の充実を図ってまいります。
久留里中学校区	地域の伝統や行事に参加し、地域とともに学習していくことが大事だと思う。	
松丘中学校区	市として定住人口を増やすための施策は何かあるのか。	現在は、中学生まで医療費無料などといった施策も展開しているところです。今後も、都市計画、子育て環境を充実させていく方策や企業誘致など、様々な観点から全庁的に取り組んでまいります。
君津中学校区	都市計画などを踏まえ、学校の設置や通学区域を考えてほしい。	
亀山中学校区	学校の文化祭や体育祭をとっても楽しみにしている地域の人々、学校を支えている人たちのことを忘れずに考えてほしい。	学校は地域に支えられ、地域とともに歩んできたことを十分認識しております。そして、再編後も、地域に愛され、地域とともにある学校を目指してまいります。

その他		
中学校区	質問・意見	市の見解
君津中学校区	保護者アンケートの回収率を知りたい。	各学校・地域により異なりますが、小中学校全体の回収率は66.4%となっております。
君津中学校区	「週休2日制度」「ゆとり教育」など時代の変遷の中で、教育制度も変わってきたが、子どもたちに責任は無い。この再編も子どもたちが大人になったときに「よかった」と思えるように進めてほしい。	市内どの学校でも、現在よりも充実した教育活動を享受できるよう、再編を進めてまいります。
清和中学校区	部活動の数が少ないという意見は聞くが、学校の授業についての意見は出ていない。部活は他校との連携という方法もあると思う。	学び合い、関わり合い、切磋琢磨できる環境というのは、学習でも部活動においても共通するものと考えます。また、部活動も教育課程外ではありますが、社会性を育む上で、重要な教育活動の一環であると捉えております。現在でも合同チームを編成して取り組んでいる学校もありますが、活動をより充実させるため、様々な方法を考えてまいります。
周南中学校区	プログラムの説明に当たっては、なるべく平易なことばを使いながら、理解しやすいようにお願いしたい。	市民の皆様にわかりやすい説明ができるよう、努めてまいります。
周南中学校区	他の地域ではどういった意見が出ているのか聞きたい。	パブリックコメントの結果をはじめ、地区説明会での意見等についても公表を検討してまいります。
周南中学校区	生徒数の減少により、部活動への影響も出始めている現状もある。スポーツ振興の面でも手立てをしなければならないと考える。	実施プログラムを作成するにあたり、また、今後の教育施策についての参考にさせていただきます。
周西中学校区	学校の余裕教室や、放課後の体育館の開放など、子どもたちが安心できる遊び場も必要だと思ふ。	
周西南中学校区	家庭の経済力によって差が出ないように、放課後いろいろな子どもを受け入れるようなプランも考えてほしい。	
周西南中学校区	福井県では、小・中・高校の先生が交流していて、情報の共有を行っている。教育の一貫性を持たせることを君津市でも進めてほしい。	
周西南中学校区	フィンランドの教科書は、社会に出るために必要なことが学習の内容になっている。日本は受験のための勉強をしている。フィンランドを参考にしてもらいたい。	
周西南中学校区	フランスでは母国語がわからない子どもには、特別なクラスを編成し教育を行っている。日本もそういうことをしていったらどうか。	
松丘中学校区	学童保育のことも配慮してほしい。市内全ての学校施設内に設置されているのがよい。	
亀山中学校区	保育園と小中のつながりが深い地域である。小さい子は上級生を見て夢や目標を与えてもらっている。	
周西南中学校区	具体的な案を示す場合、説明会に参加できない保護者もいるので、広く情報を伝える方法を工夫してほしい。	
君津中学校区	北子安小学校用地の借り上げ料とこれまでの総額は。	